第110回調整力及び需給バランス
評価等に関する委員会　資料2

2026年度の需給見通しについて
（報告）

2025年9月2日

調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 事務局

はじめに

- 2026年度の需給見通しは、2025年度供給計画取りまとめ時点（2025年3月）において、**一部のエリアで年間EUEの基準値を超過**していた。
- 2025年度供給計画取りまとめ以降、容量市場の追加オークションの約定結果等を踏まえ、**現時点で把握可能な最新データを用いて2026年度の需給見通しを確認**したため、ご報告する。
- 2026年度供給計画取りまとめ（2026年3月）に向け、需給両面の変化を踏まえて需給バランスを見直し、需給状況を引き続き注視していく。

需給バランス評価の基本的な考え方（概要）

■ 現時点で把握可能な最新のデータを用いて、従来の供給計画の考え方に基づき需給バランスを評価した。

- 需　要　：2025年度(第2年度)供給計画の想定値（厳気象影響等を反映）
- 供給力：2025年度供給計画の供給力を元に事業者による変更届出や新規届出、
  容量市場の追加オークションの約定結果等を反映
  厳気象・稀頻度対応として、火力増出力や容量市場の発動指令電源の約定分等を考慮

※H3需要に対する予備率評価においては厳気象影響分は考慮しない

2025年度供給計画とりまとめ時点からの主な供給力の変化

■ 2025年度供給計画取りまとめ（2025年3月）以降の電源の最新見通しを反映。

主な供給力の変化

休止等に伴う停止期間（3月時点）
休止等に伴う停止期間（現時点）

エリア	発電所名・号機（電源種別）	設備容量（万kW）	2026年度 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	変更理由
東北	女川（原子力） 2号	＋ 83	未定												長期施設管理計画の認可
			1/14～5/13									12/22～未定			
東京	ｴﾌﾋﾞｯﾄ横須賀（火力） 1号	－ 24	停止なし												発電事業の休止
			休止												
東京	富津（火力） 1-1号	＋ 17	長期計画停止												長期計画停止取りやめ
			長期計画停止取りやめ												
東京	富津（火力） 1-4号	＋ 17	長期計画停止												長期計画停止取りやめ
			長期計画停止取りやめ												
東京	富津（火力） 2-1号	＋ 16	長期計画停止												長期計画停止取りやめ
			長期計画停止取りやめ												
東京	富津（火力） 2-6号	＋ 16	長期計画停止												長期計画停止取りやめ
			長期計画停止取りやめ												
中部	川越（火力） 1号	＋ 70	長期計画停止												長期計画停止取りやめ
			長期計画停止取りやめ												

※2025年3月以降に提出された供給計画の変更届出等に基づく

2026年度の供給信頼度評価に基づく需給見通し

■ 年間EUEで評価した結果、電源の休廃止や補修停止等により**東京エリアにおいて、目標停電量を超過**した（目標停電量：0.015kWh/kW･年 ※沖縄エリアは1.996kWh/kW･年）。

■ 東京エリアで**供給信頼度が相対的に低い6･7･8月を対象に補修調整による対策が必要**。

今回

（単位：kWh/kW･年、kWh/kW･月）

	年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	0.003	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000
東北	0.002	0.001	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
東京	0.117	0.001	0.000	0.004	0.034	0.075	0.001	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
中部	0.003	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000
北陸	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
関西	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
中国	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
四国	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
九州	0.010	0.000	0.000	0.000	0.001	0.003	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	0.002	0.000
9エリア計	0.042	0.000	0.000	0.001	0.012	0.026	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
沖縄	0.121	0.003	0.007	0.028	0.036	0.023	0.008	0.007	0.003	0.005	0.000	0.001	0.001

参考：2025年度供給計画（2025年3月時点）

	年間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	0.003	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000
東北	0.004	0.001	0.000	0.000	0.002	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
東京	0.104	0.001	0.000	0.004	0.031	0.064	0.001	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
中部	0.002	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.002	0.000	0.000
北陸	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
関西	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
中国	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
四国	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
九州	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000	0.002	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000
9エリア計	0.038	0.001	0.000	0.002	0.011	0.023	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
沖縄	0.121	0.003	0.007	0.028	0.036	0.023	0.008	0.007	0.003	0.005	0.000	0.001	0.001

2026年度のH3需要に対する需給見通し（補完的確認）

■ H3需要に対して、**全ての月・エリアで予備率12%以上を確保できる見通し**。

今回

（単位：%）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	23.0%	41.6%	39.3%	25.7%	26.6%	27.5%	24.4%	19.4%	24.9%	18.0%	16.1%	23.0%
東北	19.7%	41.6%	40.7%	21.5%	26.6%	27.5%	24.4%	19.4%	24.9%	16.7%	16.1%	23.0%
東京	15.4%	17.6%	13.4%	12.4%	12.3%	18.4%	15.7%	18.2%	20.5%	16.7%	16.1%	23.0%
中部	37.5%	33.2%	26.7%	19.7%	18.8%	18.4%	15.7%	21.3%	14.9%	14.8%	16.1%	24.7%
北陸	37.5%	33.2%	26.7%	19.7%	18.8%	27.6%	24.3%	21.3%	14.9%	14.8%	16.1%	24.7%
関西	37.5%	33.2%	26.7%	19.7%	18.8%	27.6%	24.3%	21.3%	14.9%	14.8%	16.1%	24.7%
中国	37.5%	33.2%	35.1%	19.7%	18.8%	27.6%	24.3%	21.3%	14.9%	14.8%	16.1%	24.7%
四国	45.2%	52.3%	35.1%	21.9%	18.8%	27.6%	24.3%	21.3%	14.9%	14.8%	16.1%	24.7%
九州	37.5%	33.2%	35.1%	19.7%	18.8%	27.6%	24.3%	21.3%	14.9%	14.8%	16.1%	24.7%
沖縄	58.8%	45.0%	31.3%	28.8%	31.5%	35.7%	43.2%	56.2%	67.3%	74.8%	76.4%	77.7%

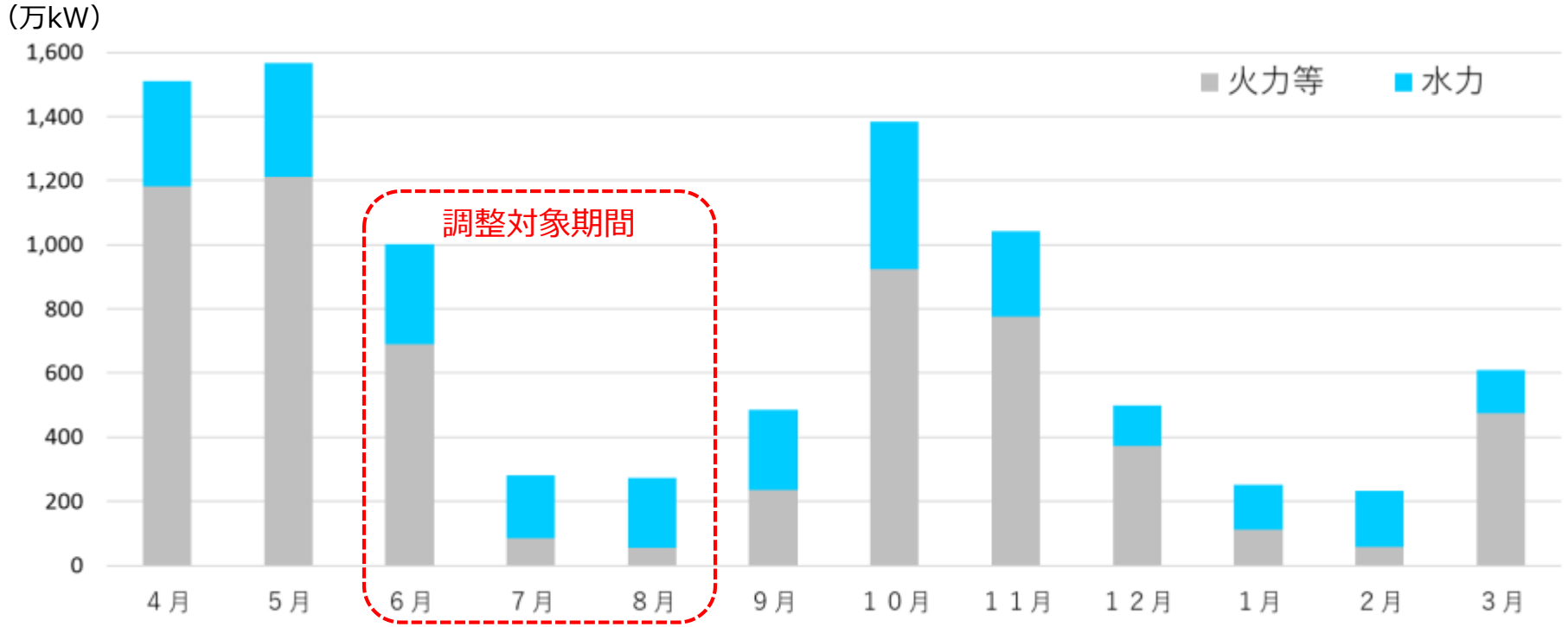
参考：2025年度供給計画（2025年3月時点）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道	22.9%	38.4%	34.0%	25.7%	21.4%	21.7%	23.8%	19.0%	22.6%	17.9%	15.9%	22.0%
東北	18.6%	37.5%	34.0%	14.4%	21.4%	21.7%	15.8%	16.8%	20.7%	15.7%	15.3%	22.0%
東京	14.9%	16.9%	12.7%	11.8%	11.8%	18.0%	14.6%	16.8%	20.0%	15.7%	15.3%	22.0%
中部	36.2%	32.6%	26.7%	19.7%	18.8%	18.0%	14.6%	18.0%	14.0%	14.0%	15.3%	23.7%
北陸	36.2%	32.6%	26.7%	19.7%	18.8%	27.6%	24.3%	21.1%	14.0%	14.0%	15.3%	23.7%
関西	36.2%	32.6%	26.7%	19.7%	18.8%	27.6%	24.3%	21.1%	14.0%	14.0%	15.3%	23.7%
中国	36.2%	32.6%	35.1%	19.7%	18.8%	27.6%	24.3%	21.1%	14.0%	14.0%	15.3%	23.7%
四国	45.2%	52.3%	35.1%	21.9%	18.8%	27.6%	24.3%	21.1%	14.0%	14.0%	15.3%	23.7%
九州	36.2%	32.6%	35.1%	19.7%	18.8%	27.6%	24.3%	21.1%	14.0%	14.0%	15.3%	23.7%
沖縄	58.8%	45.0%	31.3%	28.8%	31.5%	35.7%	43.2%	56.2%	67.3%	74.8%	76.4%	77.7%

（参考）2025年度供給計画取りまとめにおける東京エリアの補修量（2026年度）

- ■ 高需要期は比較的補修停止は少ないが、それでもなお6・7・8月の供給信頼度は低い状況。
- ■ 短期間の補修計画を中心に、6・7・8月から比較的余力のある月へ再計画する等の補修調整により供給力を確保する。

東京エリアの補修量（2026年度）



※「水力発電所・火力発電所・新エネルギー発電所等発電・補修計画明細書」に基づき、原則10万kW以上の発電設備を対象に集計
※火力等にはバイオマス・地熱蓄電池含む

（参考）容量市場追加オークション約定結果との違い

- 今回の供給信頼度評価の結果は、容量市場の追加オークションの結果とは異なっている。
- その違いは、追加オークション時点で織り込んでいない容量市場外の供給力（供給計画の変更届出や新規事業者の届出など）を現時点の最新データに見直したことが主な要因と考えられる。

3．オークション結果の集計・公表
（１）供給信頼度 [2/2]

再掲 26
【追加オークション】

- 全エリアにおいて調達オークションを実施し、需要曲線と供給曲線の交点における全国の供給信頼度は0.007 kWh/kW・年となった。
- 全国の供給信頼度をもとに約定処理上の市場分断の判断を行う全国市場の約定処理後に、北海道・東北・東京・中部、九州が不足ブロック（エリア）、その他が充足ブロックとなった。
- 不足ブロック（エリア）で、全国の供給信頼度を満たすまで電源の追加処理を行い、追加量は合計4.1万kW（内訳：北海道0.1万kW、九州4万kW）となった。
- 北海道/東北/東京/中部、九州が不足ブロック（エリア）のまま追加できる電源がなくなったため、減少処理は行わなかった。

エリア	全国約定処理後	追加処理(結果)	
	供給信頼度	追加量	供給信頼度
北海道	0.041	+0.1	0.041
東北	0.126		0.126
東京	1.101		1.101
中部	0.007		0.007
北陸	0.000		0.000
関西	0.000		0.000
中国	0.000		0.000
四国	0.000		0.000
九州	0.013	+4	0.012

単位：
追加量[万kW]
供給信頼度[kWh/kW・年]

※ 表の背景を、不足エリアについては赤、充足エリアについては青で着色。
※ 供給信頼度は四捨五入による表記上、零になる場合があるが、実際には停電量[kWh/年]が発生している。

出所）容量市場追加オークション約定結果（対象実需給年度：2026年度）（2025.7.28）
https://www.occto.or.jp/market-board/market/oshirase/2025/files/250728_tsuikaauction_youryouyakujokekka_kouhyou_jitsujukyu2026.pdf

（参考）事業者に対する働きかけ（前年度の実施例）

■　前年度と同様に2026年度供給計画の取りまとめに向けて、事業者へ働きかけを行う予定。

参考：2025年度供給計画に向けた事業者への依頼文書（2024年10月）

2025年度のさらなる供給力確保について

日頃より供給計画の取りまとめをはじめ、本機関の取り組みにご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

本機関は、電気事業法第29条に基づき電気事業者が国に届け出る供給計画について、同条及び業務規程第28条に基づきこれを取りまとめています。

2025年度について一定の仮定をおいた需給バランスの試算では、第101回調整力及び需給バランス評価等に関する委員会（2024年9月30日）で示した通り、目標とする供給信頼度が一部のエリアで確保できない見通しです。また、端境期（春季・秋季）は、夏季・冬季に比べて多くの補修停止が計画されているため、夏季・冬季並の気象条件となった場合の需要増加や電源トラブル等があれば、需給が厳しくなる可能性があります。具体的には、東京エリアの10月・11月で、供給信頼度が相対的に低くなっており、供給力確保策を実施していく必要があると考えております。

このような需給状況に加えて、2025年度供給計画に向けて需要や供給力が更新されること等により、需給が厳しくなる可能性があります。

以上のことから、各事業者におかれましては、2025年度供給計画に向けた補修停止計画を策定するにあたり、夏季・冬季の供給力に極力影響を与えない範囲で、以下の事項にご協力をお願いいたします。

（後略）

出所）2025年度のさらなる供給力確保について（2024.10.1）
https://www.occto.or.jp/kyoukei/oshirase/241001_2025kyoukyuryokukakuho.html

今後の需給両面における変化要素とその判明時期

■ 年度末の取りまとめに向け、事業者間の調整等を踏まえ、需要や供給力の変化が判明してくる。

■ **今後の供給計画取りまとめのステップの中で、需給状況を注視し、必要に応じて供給力対策を検討する。**

今後の変化要素とその判明時期

	変化要素	判明時期	備考
供給力	休廃止計画や補修計画の追加・変更 再エネ供給力の変化（補修計画・設備量・調整係数の更新） 非電気事業者からの調達量の変化 電力卸販売や情報掲示板等による計画変更	2月中旬（供給計画案取りまとめ）	＜現時点の計上方法＞ ・現時点で判明している計画変更等以外は2025年度供給計画に基づき計上 ＜今後の可能性＞ ・電源の稼働状況等を踏まえて補修計画が追加・変更となる可能性 ・休廃止計画が新規計上される可能性 ・販売計画等を踏まえて休止計画が変更となる可能性
	電源トラブル等	－	・突発的に発生する可能性
需要	経済見通しの更新 今夏実績の分析等	1月中旬（需要想定公表）	＜現時点の計上方法＞ ・現時点でH3需要は2025年度供給計画取りまとめを横置き ＜今後の可能性＞ ・経済見通しや実績を踏まえて想定が更新される可能性

今後の対応の方向性

- 2026年度の需給見通しは、2025年度供給計画取りまとめ時点（2025年3月）において、一部エリアで年間EUEの基準値を超過していた。
- 今回は、容量市場の追加オークションの約定結果等の環境変化を踏まえ、現時点で把握可能な最新データを用いて再度供給信頼度の評価を実施した。
- その結果、**東京エリアにおいて目標停電量を超過したことから、供給信頼度が相対的に低い6・7・8月を中心に補修調整を行い、必要に応じて対象期間以外も個別に調整を実施する。また、その他の需給対策等についても検討する**。
- 今後は、**供給計画の取りまとめやその後の需給検証に向け、需給両面での変化を踏まえて需給バランスを見直し、需給状況を引き続き注視していく**。